



新緑の信夫山を駆け抜けよう！ 信夫山魅力発見！ 第3回パークランニングレース ～信夫山を桃色に染めよう！～

まちづくり委員会 委員長 黒澤 俊之

去る5月17日(日)に第3回目となる「信夫山パークランニングレース」を開催いたしました。天候にも恵まれ、抜けるような青空の下、567名もの方々にご参加いただき、青々と生命力に満ち溢れた福島のシンボルである信夫山を駆け抜けていただきました。

3回目となる今回も10km男女・5km男女・3km男女・3kmペアの7つのコース設定を行い、記録を狙うランナー・自然を楽しむランナー・家族の絆を深めるランナーと幅広いランナーに満足いただける仕様と致しました。そして、より魅力的な大会とすべく随所に趣向をこらした設えを行いました。

この設えは、単に嗜好的なものに留まらず福島の魅力を十分に発信し得たものと確信しております。中でも、スター



ト・ゴール会場を同一場所とし、護国神社拝殿を背に実施した和太鼓演奏、福島の食材に特化した食ブースの展開、そして未来の故郷や子どもたちへの贈り物となる桜の植樹。このどれもが、福島の魅力・地力を大いに県内外へ発信してくれたものと考えております。



パークランニングレースは単にレースを行うだけではなく、様々な魅力を発信し、故郷への想いを今一



度呼び覚ますキッカケとなるような大会にしようと、委員会メンバーが一丸となり、昼夜を問わず議論を交わし創り上げた大会でした。先に述べた食のブースにおいては、桜の聖母女子短大との共同企画にて誕生した「桜の聖母とのコラボ弁当2種」や地元企業とタレの開発から作り上げた「福島豚みそ生姜焼き弁当」、旬の地場野菜が中心の「地場野菜をたっぷり使った焼きそば」等、福島だから発信できる食の魅力を存分に味わって頂けたものと考えております。今年も食ブースはとて賑わい、目の前で和太鼓演奏を聴きながら、福島の味覚を楽しむ家族や友人同士で笑顔が絶えない時間となりました。



レース後は、参加者の皆さんに桜の苗木を植えていただく「Pink Park Project」も行いました。今年はまだ小さい苗木ですが、10年後、20年後の春には信夫山を華麗に彩ってくれるものと思います。福

島市は自然に恵まれ、果物や温泉街を有する観光資源豊かな街ですが、震災や原発事故の影響で観光客が減少し、福島への関心が失われている様に感じます。そこで、福島市の中心に位置し、福島市の観光資源の象徴でもある信夫山に着目し、「自然と共存するまち」として福島市の魅力・地力を発展昇華させたいという思いで、この事業を行いました。福島青年会議所の運動がパークランニングを通じ、皆さまの元へ届いたならば幸いです。

最後になりますが、事故や怪我人を出すことなく無事に事業を終了できましたのも、事業開催にあたり多くのご協賛やお手伝いを頂きました皆さまのお力添えがあったお陰です。担当委員会を代表して深く感謝を申し上げますと共に、次年度以降も変わらぬご協力を賜ります事を切にお願い申し上げ、第3回信夫山パークランニングレースのご報告に代えさせていただきます。



「第22回わらしっ子塾～スポーツの力で夢に近づこう～サッカー編」を終えて

ひとづくり委員会 委員長 諸橋賢太郎

去る2015年7月26日(日)に「第22回わらしっ子塾～スポーツの力で夢に近づこう～サッカー編」開催させていただきました。まずは、参加していただいた子ども達、協力していただいた皆様、応援にお越しいただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

私たちひとづくり委員会は、本年度子ども達にここ福島から夢や希望を叶える「きっかけ」掴んでもらい、福島を好きになってもらうことをテーマに事業を考えてきました。

今回のサッカー編では、福島ユナイテッドの協力のもと、何度も打ち合わせをし、子ども達に何を考えてもらうか、どんな事業にしたら子ども達に喜んでもらうか「きっかけ」を掴んでもらえるのかを委員会メンバーと話し合いました。しかしながら、応募チラシを出してみると夏休み真っ只中で部活の試合や合宿などで、中々募集が集まらず参加者集めに奮闘しましたが、いろいろな方に協力していただき参加者を増やし事業を開催することが出来ました。

事業当日は朝から晴天、やる気も満々であづま運動公園の駐車場から競技場に歩いて行ったことを今



でも思い出します。メンバーと受付の準備をして子ども達を待ちました。一人、また一人と集まってくる子ども達を見ていて、事業が始まる実感が湧いてきました。子ども達も揃いみんなおそろいのTシャツを着て開会式を行いました。開会式を終えて最初のプログラムである運営体験を班ごとに分けて実施しました。選手の写真入りののぼりを設置したり、スタジアム内を見学したり手伝ったりと選手以外の人たちがどのような仕事をし、努力して試合までを作っていくのかを勉強してもらいました。照り付ける日差しの中、笑顔で話す子ども達に「水飲んでおきなよ」「熱中症にならないように日陰にいてね」と声を



かけてくれているメンバー。「大丈夫だ」と確信して事業を進めていましたが、迫りくる「危険」にまだ気づいていませんでした。運営体験が終了し、続いてユナイテッドのプロ選手とのサッカースクールが始まりました。選手たちが実際試合



をするピッチに入れるということで、子ども達も嬉しそうにしていました。ただ、気温も上がり、湿度も高くなってきており、水分補給、休憩をこまめにとつてのサッカースクールになりましたが、選手と笑顔でボールを追いかける子ども達を見ていて青少年育

成事業をやっている本当に良かったと実感しました。サッカースクールが終わり記念撮影を撮った



後に、「危険」が舞い降りてきました。一人の子が体調を崩し、チームドクターに診ていただくような事がおこりました。診断の結果は「熱中症」ということでした。その後も数名の子どもが体調を崩し、昼食時委員会メンバーと今後のプログラムを実施する可否かを話し合いました。苦渋の決断でしたが、事業の早期切り上げを決定いたしました。昼食後の講演会の後は保護者と子どもの自由参加ということで、保護者連絡をし、閉会式を行いました。子ども達のために最後までという想いもありましたが、これ以上の危険に子ども達をさらしてはいけないと言い聞かせ閉会式に臨みましたが、子ども達の「楽しかった」の言葉と笑顔や閉会式終了後に保護者の方とお話をさせていただいている時の「またいい事業があれば声をかけてください」という言葉に救われました。

最後に、福島青年会議所のメンバーの方に、「私たちメンバーにとっては22回のわらしっ子塾の一回かもしれない。でも、子ども達にとっては生涯の一回かもしれない」という言葉に胸を打たれました。今後企画しているわらしっ子塾でも、子ども達の記憶に残るような事業を委員会メンバーと作り上げたいと思います。



告知

公益社団法人 福島青年会議所 企画講演会

ゴルゴ松本氏「命の授業」公開講演会

来る10月27日(火)にゴルゴ松本氏による「命の授業」公開講演会を開催致します。ゴルゴ松本氏は3年前より、ボランティアで全国の少年院を回り、少年達に漢字を使った命の尊さや、夢を諦めないで持つと言う事を伝える講演を開催しております。このような実績を受け今年の4月に法務省から表彰を受けております。

※授業の様子は you tubeで「ゴルゴ松本 命の授業」と検索して頂ければ視聴できます。

公益社団法人 福島青年会議所 企画講演会

ゴルゴ松本氏

命の授業 公開講演会



ゴルゴ松本
1994年お笑いコンビTIMを結成。「炎」のネタで一躍有名に。2011年からボランティアで少年院への訪問を始める。テレビ番組でこの様子がオンエアされた。漢字の成り立ちを題材に「人生のありかたや生き方」、「夢を持つこと」などを熱弁している。少年はもちろん、スタジオ参加の芸能人や多くの視聴者にも大反響となった。

■講演例：「吐」と「叶」
弱音を「吐く」と言う事は非常にネガティブなこと。「吐く」は口にプラスとマイナス。そのマイナスを取ると「叶う」と言う字になる。つまり

がんばってれば、いつかは夢が叶うんだ!

2015年**10月27日** 火 福島県文化センター 大ホール
開演：18時45分 開場：17時45分 ※入場には整理券が必要となります。

入場無料・全席自由
恐れ入りますが、入場順に座席まで運営が誘導させていただきます。

整理券配布場所 福島県文化センタープレイガイド
Tel:024-533-9331 8:30~19:00

対象① 中学生・高校生
整理券配布開始 2015年9月12日(土)10:30~
整理券は整理券配布場所にて入手して下さい。その際に学生証の提示が必要となります。原則として、配布はお一人様一枚までとなります。(保護者同伴の方は二枚までとなります。)

対象② 青少年の保護者・青少年の育成に関わる方
整理券配布開始 2015年10月3日(土)10:30~
「青少年の保護者・青少年の育成に関わる方」の別案は、「16歳~18歳以下の子ども様をお持ちの父兄の方」「勉強・スポーツ・文化活動等を通して青少年の育成に、何らかの形で関わっている方」が対象となります。整理券は整理券配布場所にて入手して下さい。その際に青少年の保護者・青少年の育成に関わる方であることが確認できる物(お子様の学生証・保険証の写し等のこちらがそれと判断できる物)の提示が必要となります。整理券として配布はお一人様一枚までとなります。
※対象①で既に整理券配布が規定枚数に達している場合は配布を行いません。整理券に残りがある場合は福島青年会議所ホームページ <http://f-247.jp>にて告知しております。

主催 JCI 公益社団法人 福島青年会議所
後援 福島市・福島県教育委員会・福島市教育委員会・福島民報社・福島民友新聞社・ラジオ福島・福島テレビ
福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ふくしまFM・福島コミュニティ放送FMボコ(順不同)
福島市市民活動活性化支援事業補助金交付事業

お問い合わせ 福島青年会議所事務局 Tel:090-8616-2470 (受付時間 15:00~19:00)
Mail:Gorugo-kouenkai@247.jc.jp

講演会概要

日時：10月27日(火)

場所：福島県文化センター 大ホール

開演：18時45分

入場無料・全席自由

入場には整理券が必要となります。

整理券配布場所：

福島県文化センター大ホール

講演会の対象：

「中学生・高校生」、

「青少年の保護者・青少年の育成に関わる方」

今回の講演会は、ゴルゴ松本氏の「夢を掴む」という講演内容を聴いて頂き、青少年の方々に夢の実現を強く意識してもらうことで、これからの夢を叶えるきっかけとなればと思い開催致します。また、青少年の保護者・青少年の育成に関わる方にも同様の目線で夢について学んで頂けたらと思います。この講演会がきっかけで、夢を意識し叶える青少年が増えて、福島の活性化に繋がっていく事が私達の想いです。